

セッション6

# 会話術 パート1

プロジェクト パート1

会話のきっかけとなるものを見出し、用いる

## 会話に関する課題の概要

「会話術 パート1 & 2」に関連する2つの課題は、学び手がまるで生まれつきその才能を持っていたかのようになるまで身につけることを願う、2つの種類の会話の仕方について取り組みます。まず、「会話のきっかけとなるものを見出し、用いる」ことから始め、次に「会話の集まりをホストとして導く」ことをします。

**目指すべき目標:** 人々から、会話をするのと、会話を導くのが得意だとの評判を得ること

### 会話のきっかけとなるものを見出し、用いる

会話のきっかけとなるものは数多く存在し、それらはより深い会話をするためのすばらしい機会を提供してくれます。そのような機会は、日々の生活に起こることに対する自然発生的なもの、あるいは準自然発生的なものです。そのような機会は、たいてい、一対一、あるいは小グループにおいて起こります。一緒に交通事故を目撃したり、広告を見たりするといった、共有体験から起こることもあります。今起きていること、地域のニュース、ブログなどは、より深い会話を導く素材となります。

広告は、すばらしい会話のきっかけをもたらすものです。あなたの地域や文化によっては、若い女性の自己イメージを高めるための、Dove という石鹸の広告があるでしょう(私の街では地下鉄にその広告があります)。最近ではディーゼル(ファッションブランド)が人々に愚かになることを勧める広告を出していました(私の街ではタクシーの後ろにその広告があります)。また、私の母国では、バドワイザー(ビール会社)が「夢見心地になる」という現象を軽い感じで流していました(テレビで)。これらの広告はすべて刺激的で、深い会話を導くことに用いることができます。

このような機会を用いる上で大切なのは、広告自らが機会をもたらしてくれるので、それをもとに会話を始めることです。

**目的:** この課題は学び手が日々の生活において会話のきっかけとなるものを見出し、用いることを助けるものです。

**目標:** 友人と福音についての会話をするための新しい方法を求めていきます。

**説明:** あなたの町にある会話のきっかけとなるものを探しましょう。それをもとに、友人とより有意義な会話をするように努めましょう。

**ボーナス:** 町にある会話のきっかけとなるものを、グループでリストにしましょう。

**会話のきっかけとなるものを探すために:**

- ・ニュース
- ・ポップカルチャー(大衆文化): 映画、歌
- ・広告